

広報

my hometown TOMIOKA 2013

とみおか

6

No.608



主な目次 Contents

富岡町消防団春季検閲	02~03
お知らせ	06~10
こんにちは。大玉診療所です！	11
とみおか桜通信	12~17
とびっくす	18~22

復興への新たな決意を胸に 富岡町消防団3年ぶりの春季検閲

富岡町消防団の春季検閲が5月19日、いわき市の東日本国際大学付属昌平中学・高等学校グラウンドで行われました。

震災後初の開催となった検閲には、県内外の避難先から6分団126人の団員が参加。統監である遠藤町長の訓示に続き、各種点検を受け、その後の分列行進ではプラシカを感じさせない統制のとれた動きを見せました。

富岡町消防団は震災後、行方不明者の捜索活動や避難所警備、支援物資の運搬など町民の生活を支え、現在は町内の巡回や放射線量測定、仮設住宅見回りなどの任務にあたっています。3年ぶりの検閲に臨んだ団員の皆さんは、仲間との再会を喜び合うとともに、古里復興に向けて富岡町を守り抜く決意を新たにしています。



富岡町消防団長 安藤 治

本日は、3年ぶりの検閲開催となりましたが、震災以降消防団活動が難しくなる中、団員有志による行方不明者の捜索や仮設住宅での夜警などの任務に従事していただき、感謝申し上げます。

おられますが、3月末の避難指示区域見直しに合わせ、町当局より町内巡回の依頼を受け、県内95名の団員の皆さんにご協力をいただきながら、古里の安全安心確保のためのパトロール活動

を心ひとつに
富岡町消防団長 安藤 治

ます。避難生活も3年目に入り、先に見える生活が続いて活が続いて

を心ひとつに
富岡町消防団長 安藤 治

まだまだ厳しい状況に変わりはありませんが、朝の来ない夜はありません。必ずや素晴らしい展開が訪れることを信じ、将来に悔いを残さないためにも、今できることに団員が心をひとつにして、真摯に取り組んでいただくことをお願い申し上げます。

古里・富岡のために…団員たちの思い



第6分団副団長 國分 広美さん

入団して26年。震災時は仕事のために消防団活動ができず、命がけで対応にあたる仲間には申し訳ない気持ちでいっぱいだった。今日3年ぶりに集まり仲間と会えたのが何よりも嬉しい。今、町内のパトロールなどを行っているが、今後も意識を高く持ち富岡町のために取り組んでいきたい。



第3分団第1班 吉田 公一さん

地元の先輩に誘われて入団した。震災直後避難した大玉村の消防団の皆さんから訓練に混ぜていただいたのが嬉しかった。今まで仲間と活動できず寂しかったが、こうやってみんなが集まるのが一番いいことだと思ふ。これからも連絡を取り合い、団員同士の絆を切らさないようにしたい。



第6分団第3班 石垣 祐二さん

会社の先輩に誘われ今年から入団した。現在、仕事の関係でパトロールには参加できないが、もし町内で火災などが起きたらすぐに駆け付け、被害を最小限に抑えるよう活動したい。これから先輩や他の団員の皆さんとの絆を大切に、将来は富岡町に戻って地域のために頑張りたい。



より一層の活躍に期待
富岡町長 遠藤 勝也

未曾有の大災害となった東日本大震災直後、富岡町消防団の迅速かつ的確な行動により、多くの町民が救われました。町内の警戒巡回、そして川内村や郡

山市などの避難所支援にあたり、は、昼夜を問わず町民のためにご尽力いただき、大きな不安を抱えた町民にとって、活動する団員の姿が何よりも頼もしく、安堵感を覚えたこととは言うまでもありません。

現在、町内72カ所での空間放射線モニタリングや、避難生活を送る高齢者世帯への訪問に加え、避難指示区域

再編後は防火・防犯パトロールなど、あらゆる面から町を支えていただいております。

皆さまにおかれましては、避難生活を強いられている一人の富岡町民であるため複雑な心境もお察ししますが、消防人としての誇りを胸に、双葉地方広域消防と連携を図りつつ、安藤団長のもと士気を高め一致団結し、富岡町民の生命と財産を守るために、今後一層のご協力をお願いするものであります。



原子力損害賠償紛争審査会が富岡町を視察

原子力損害賠償紛争審査会の委員8人が5月12日、震災以降初めて富岡町を訪れ、被害の状況や住宅、商店街の現地視察を行いました。

視察に同行した田中副町長が、学びの森や中央商店街を案内。「原発事故が起



学びの森館内を視察

らなければ、地震の翌日から一部破損した家屋は修理を行うことができた。長期避難により修繕もままならず、長い間放置せざるを得なかった家は、雨漏りによる腐食やそれに伴う放射能汚染、放れ家畜やネズミ等の被害により住める状況ではなくなり、住民の帰宅意欲が失われているのが現状である。

この状況で避難を余儀なくされている町民には、家屋の取り壊しや、新たな居住先を決めるための費用負担がのしかかっており、大きな不安を抱えている。

また、戻れるようになった場合でも、家族構成によって、高齢者家族は町内に戻り、若い世代は仕事や子育てのため町外などに生活の拠点を置く事が考えられるが、現時点では一切フォローがない。賠償とは切り離し、生活再建の観点から様々なサポートが必要である」と町の状況を説明し、

被災者に寄り添い安心して生活再建が図れる支援を訴えま

した。町内を視察した能見善久会長は「実際に現地を見て、住宅は想像以上の損害であり、場合によっては取り壊しを行わなければならない状況を認識した。財物損害賠償方法について根本に立ち返り、賠償方法や修繕に対する損害をどのように算定するのか、金額に反映させるのか、それ以外の施策を含め審査会で再度検討したい」と述べました。

視察後、田中副町長は「損害賠償紛争審査会の協議の経過が見えず、いつも最終的な形となった段階で示される。それでは、被災者の意見が反映されにくい。途中経過でも、指針の方向性でも良いので、我々被災者に情報を公表してもらえよう、訴えていきたい」と述べました。

富岡町まちづくり検討委員会開催

富岡町まちづくり検討委員会第1回会議が5月2日、郡山市大槻北公民館で開催され、遠藤勝也町長が外部委員22人に委嘱状を交付し、委員長に土方吉雄日本大准教授、副委員長に松本政喜熊本応急仮設住宅自治会長、田中副町長が選ばれた。

会議では、町事務局が町民の避難状況のほか、区域再編、除染、仮置き場の方針などを説明し、昨年策定した町災害復興計画(第1次)の概要などを解説しました。引き続き、委員同士の意見交換が実施され、各委員からは「町民の意見を広く取り入れるべき」「町民が自ら今後のまちづくりを行う意識が持てるような計画が必要」などの意見が出されました。

外部委員は次の通りです。

(敬称略)

- ▼行政 区 長 会 松崎 英教
- 佐藤 謙一
- 早川 忠
- 早川 雅通
- 関根 憲一
- 松本 政喜
- ▼農 業 委 員 会 佐々木賢一郎
- ▼富岡町商工会 名嘉陽一郎



- ▼富岡町商工会青年部 渡辺 信一
- ▼町立小中学校校長会 吉田 隆見
- ▼(社)福島県建築士会 三瓶 洋法
- ▼南双葉青年会議所 神谷 健二
- ▼富岡町消防団 安藤 治
- ▼一 室井 和枝
- ▼日 本 大 学 荒木 春恵
- 土方 吉雄
- ▼東日本国際大学 浦部 智義
- 福迫 昌之
- ▼復 興 庁 濱邊 哲也
- ▼福 島 県 角田 仁
- 太田 敦夫
- 芳賀 英幸

町民と行政をつなぐ 行政区長会を開催

富岡町行政区長会が5月16日に富岡町役場郡山事務所で行われ、遠藤勝也町長から行政区長一人ひとりに委嘱状が手渡されました。引き続き役員改選が行われ、会長に坂本壽昭さん(杉内行政区長)、副会長に早川雅通さん(駅前行政区長)、松本政喜さん(小浜行政区長)が選任されました。

(敬称略)

各行政区の区長は次のとおりです。



- ◎杉内町 坂本 壽昭
- 三瓶 一義
- 遠藤 清一
- 鎌田 光利
- 藤元 勝悦
- 横須賀 富夫
- 松崎 英教
- 石井 芳久
- 大川 清
- 堀本 廣喜
- 沖 兵仁
- 猪狩 恒男
- 猪狩 恒男
- 猪狩 浩
- 渡辺 庄一
- 山田 秀行
- 大浦 洋一
- 佐藤 謙一
- 早川 忠
- 早川 雅通
- 小野 一男
- 遠藤 武
- 松本 政喜
- 関根 憲一
- 関根 乃
- 渡辺 信夫
- 今野 輝昭
- ◎会長、○副会長

損害賠償に係る町から原子力損害賠償紛争審査会への要望内容

1. 精神的損害賠償(月10万円)の増額
 - ・生活費の増加分を含む月額10万円であることが真に合理的な算定方法ではなく、長期避難による精神的損害の賠償額は増額すること。
2. 不動産賠償における再調達価格等の基準見直し
 - ・現在示されている定型による賠償額の算定手法では不動産の再取得が不可能であり、移転補償を基本とした賠償基準とすること。
3. 田・畑・山林(立木を含む)の賠償基準の早期明示
4. 建物解体費用の賠償(倒壊危険性・修理困難の判断、除染事業との整理、帰還困難区域所在建物の取扱い)
5. 家財賠償の定型評価額の基準見直し
6. 営業損害・就労不能損害の賠償期間の延長
7. 就労不能損害、営業損害における「特別な努力」の非控除の事故発生時までの遡及適用
8. 不動産の再取得における消費税の取扱い
 - ・消費税が平成26年4月より3%増加される。被災者が賠償されるものに消費税上乗せ分はなく自己負担となるため、特例を認めるような仕組みづくりを行うこと。
9. 避難指示解除時期の見込み決定による帰還割合の残り分の早期支払いについて
10. 賠償の終期について
 - ・避難住民の不安解消のため終期のより具体的な考えを明示すること。



児童手当現況届の提出について

児童手当を受給されている方は、年に一度6月に養育状況を確認するため「児童手当現況届」をご提出いただく事になっていきます。

現況届は、6月中旬に郵送しますので、期限内に提出してください。

▼提出期限

6月28日(金)厳守

▼添付書類

【受給者共通】

- ・国民健康保険以外の方
- ・児童手当受給者(児童の養育者)の保険証の写し

災害救助法に基づく住宅の応急修理制度について

災害救助法に基づく住宅の応急修理制度は、東日本大震災により半壊又は大規模半壊の被害を受けた住宅の応急修理を、町が直接業者に依頼し、修理に要した費用を一定の範囲内で支払う制度です。本制度を活用し、住宅の応急修理を希望される方は、申請期限内に富岡町役場郡山事務所生活支援課住宅支援係または、いわき・三春・大玉各出張所までお申込みください。

▼申請期限

平成25年9月30日(月)

▼対象区域

避難指示解除準備区域

▼対象者

次の要件をすべて満たす方(世帯)が対象です。
 (1) 半壊又は大規模半壊の被害を受けた方。なお、全壊の場合でも、応急修理を受けることで居住が可能な場合は対象となります。

※町が発行する「防災証明書」が必要となります。
 (2) 避難指示の解除後、速や

- ・振込金融機関を変更される方
- ・銀行口座の写し
- ※児童手当受給者(児童の養育者)名義のものに限る。

【単身赴任等により児童を別居監護する方】

- ・監護・生計同一に関する申立書(様式は追送します)
- ・、ご連絡ください)
- ・別居先の児童が属する世帯全員分の住民票

【富岡町に転入された方】(再転入を含む)

- ・受給者の児童手当所得証明書(平成25年1月1日に住所のあった市区町村から取得してください)

健康福祉課 福祉係

ダイヤモンド婚・プラチナ婚表彰

町では、結婚60年(ダイヤモンド婚)並びに結婚75年(プラチナ婚)を記念し、ご夫婦を表彰します。

75歳以上の方には、申請書を6月中旬に一斉に送付します

かに修理した住宅に転居する方。

- (3) 半壊の住宅は、平成22年の世帯の収入が左記表のいずれかに該当している方(大規模半壊の住宅被害を受けた方(世帯)は除く)。

平成22年世帯の収入	
ア	(収入額) ≤ 500万円の世帯
イ	500万円 < (収入額 ≤ 700万円) かつ 世帯主が45才以上又は、要援護世帯
ウ	700万円 < (収入額 ≤ 800万円) かつ 世帯主が60才以上又は、要援護世帯

※住宅の応急修理申請書を提出する前に行った修理であっても、修理前後の写真や修理見積書等の必要書類が整っており、住宅の応急修理制度の要件に適合するものであれば、住宅の応急修理制度の対象とすることが可能な場合があります。詳しくは生活支援課住宅支援係へご相談ください。

ので、該当される方は届出をお願いいたします(郵送での届出も可能です)。

▼届出ができる方

- ① 富岡町に住所を有し、結婚後60年(昭和28年に結婚)、同じく75年(昭和13年に結婚)を迎える夫婦。

- ② 昭和27年(ダイヤモンド婚)、昭和12年(プラチナ婚)以前に結婚され、まだ慶祝を受けていない夫婦。

を受けていない夫婦。

▼届出期限

7月31日(水)

▼受付窓口

富岡町役場郡山事務所、いわき出張所、三春出張所、大玉出張所

▼表彰伝達

9月中旬以降郵送にて表彰状と記念品をお届けします。

▼注意事項

- ・申請者の印鑑が必要です。
- ・届出は代理人でも結構です。
- ・郵送により届け出る場合は、富岡町役場郡山事務所介護保険係宛に送付してください。

健康福祉課 介護保険係

▼住宅修理の内容

住宅の応急修理は、居住・台所・トイレなど、日常生活に欠くことのできない部分であって、緊急を要する箇所について実施します。緊急度の優先順位は次のとおりです。

- ① 屋根・柱・床・外壁・基礎等
- ② ドア・窓等の外部に面する開口部
- ③ 上下水道・電気・ガス等の配管・配線
- ④ 衛生設備

注1 地震の被害と直接関係のある修理のみが対象です。
 注2 内装に関するものは原則として対象外です。
 注3 家電製品は対象外です。

▼限度額

- (1) 一世帯あたりの限度額は52万円です。
- (2) 同一世帯(一戸)に2世帯以上が居住している場合でも、右記(1)の一世帯あたりの限度額以内となります。
- (3) 借家であっても、所有者の同意を得て応急修理を行うことができます。

生活支援課 住宅支援係

富岡町職員採用候補者試験のお知らせ

町では、平成26年度の職員採用候補者(高校卒業程度並びに社会人基礎試験)の試験を次のとおり行いますので、受験を希望される方は、申込受付期限内に富岡町役場総務課へお申し込みください。

1 試験区分、採用予定人員及び受験資格

- (1) 高校卒業程度

試験区分	採用予定人員	受験資格
一般事務	若干名	平成4年4月2日から平成8年4月1日まで生まれた者(学歴は問いません)

(2) 社会人基礎試験

試験区分	採用予定人員	受験資格
行政	若干名	昭和49年4月2日から昭和59年4月1日までに生まれた者(学歴は問いません)

2 試験の方法

試験区分	社会人基礎試験		高校卒業程度一般事務		試験の方法
	行政	行政	第一次試験	第二次試験	
行政	第二次試験	第一次試験	第一次試験	第二次試験	高校卒業程度による教養試験、専門試験 第一次試験合格者に対し、作文及び口述試験 公務に必要な基礎的能力試験・職務遂行に必要な適性検査
	第一次試験	第二次試験	第一次試験合格者に対し、作文及び口述試験	第二次試験合格者に対し、作文及び口述試験	

3 試験期日及び試験場

- (1) 第一次試験 平成25年9月22日(日)
試験場 杉妻会館
福島市杉妻町3-45
- (2) 第二次試験 平成25年10月下旬頃
試験場 富岡町役場郡山事務所
郡山市大槻町字西ノ宮48-15

・社会人基礎試験

- (1) 第一次試験 平成25年9月22日(日)
試験場 ふくしま中町会館
福島市中町7番17号
- (2) 第二次試験 平成25年10月下旬頃
試験場 富岡町役場郡山事務所
郡山市大槻町字西ノ宮48-15

4 申込受付期間

7月17日(水)から8月16日(金)まで
 (ただし、土曜日及び日曜日・祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで)

5 申込手続

受験案内・受験申込書は、役場総務課で交付いたします。
 郵便により受験申込用紙を請求する場合は、封筒の表に「〇〇試験申込」と朱書きし、420円切手を貼った返信用封筒(角2)を同封して送付してください。

富岡町役場 総務課

☎0120-33-6466

双葉農業普及所
からのお知らせ

双葉農業普及所では、避難されている農家の皆さまに必要情報(農産物・土壌モニタリング結果、原子力災害に対応した農業技術情報、資金・事業の紹介など)を分かりやすくご説明するため、毎月県内5カ所に相談窓口を設置しています。最寄りの窓口へお気軽にお越しください。

双葉農業普及所

☎0246-24-6044

ふくしま大卒等
合同就職面接会

平成26年3月に大学等を卒業予定の方、平成23年3月以降に卒業して、現在就職活動をされている方を対象に、正社員で雇用する計画のある県内企業との面接会を次の日程のとおり開催します。ぜひご参加ください。

開催日時

7月13日(土)

県内企業の企業70社が参加予定。

実施内容

合同就職面接会

13時～16時

会場

ビッグパレットふくしま

Cホール

郡山市南二丁目52番地

お問い合わせ先

福島労働局職業安定課

☎024-529-5396

主催

厚生労働省福島労働局、ハローワーク、福島県

その他

事前申込不要。お気軽にお越しください。

避難先届出のお願い

避難先住所の届け出をされていない方や避難先を移動された方は、電話等により避難先の情報を富岡町役場に届け出てください。

登記・人権相談所の
開設について

福島地方務局では、日常生活や震災被害での様々な心配ごと、困りごとについて、次の日程により特設相談所を開設し、法務局職員、人権擁護委員、公証人、司法書士、土地家屋調査士がご相談をお受けします。相談は無料で秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

相談内容

土地・建物の、相続登記に関する事

開設時間

1回目 午前10時30分～11時30分

2回目 午後1時30分～2時30分

福島地方務局総務課

☎024-534-1941

登記人権相談所日程表

地域	日時	場所
福島	6月29日(土)	福島地方務局
	7月3日(水)	本宮市白沢公民館
	7月4日(木)	保原町中央公民館
	7月8日(月)	大玉村農村環境改善センター
	7月9日(火)	川俣町保健センター
	7月16日(火)	国見町観月台文化センター
	7月17日(水)	二本松市役所
7月19日(金)	桑折町中央公民館分室	
相馬	6月29日(土)	福島地方務局相馬支局
	7月15日(月)	南相馬市原町区福祉会館
郡山	6月29日(土)	福島地方務局郡山支局
	7月9日(火)	田村市船引保健センター
白河	7月16日(火)	三春交流館「まほろ」
	6月29日(土)	福島地方務局白河支局
会津	6月29日(土)	福島地方務局若松支局
	6月29日(土)	会津美里町高田公民館
いわき	6月29日(土)	福島地方務局いわき支局
	7月2日(火)	広野町旧庁舎
	8月1日(木)	川内村コミュニティセンター

自宅でのごみやがれきの
取扱について

富岡町内のご自宅等の片付けで発生したごみや、廃棄せざるを得なくなった家財類、損壊した家屋・塀などの破片は、町から案内があるまで各家庭での一時保管をお願いします。

なお、一時保管の際は、ごみの種類ごとに分別してください。詳しい分別方法につきましては、3月15日に配布しました『富岡町への立入りの取り扱いについて』をご確認ください。

現在、環境省が仮置場等の調整を行っております。皆さまには、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

生活環境課 環境衛生係

はじまりました
無料法律相談

法テラスでは、平成25年3月17日に、被災者支援のための出張所「法テラスふたば」を広野町に開設しました。

お詫びと訂正

広報とみおか5月号(No.607)6ページ、軽自動車税の記事に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

減免申請受付期間

誤：5月20日～6月29日
正：5月20日～6月24日

一時立入りに伴う子どもの一時預かり

現在、保護者が富岡町内に立入る際、郡山市及び南相馬市内の施設でお子さまの一時預かりを実施していますが、6月24日よりいわき市内の施設でも一時預かりを実施できるようになりました。利用するには予約が必要となりますので、立入り日が決まりましたら、利用希望日の1週間前までにお申込みください。

【榎葉町子育て支援センター(あおぞらこども園中央台仮設園舎内)】

住所：いわき市中央台飯野5-6-1 ☎0246-38-3082

対象児童：1歳～小学4年生

利用時間：9:00～17:00

- ①1歳～就学前児童 月～土曜日
- ②就学児童 土曜日のみ(長期休暇中は火・木・土曜日)

申込方法：初回、利用登録申請(年度毎に更新)が必要となります。様式は町ホームページ【災害版】申請書ダウンロードの「一時預かり登録申請」からダウンロードすることもできます。

- ①1歳～就学前児童
初回利用の際、富岡町とみたさくら保育施設へ利用登録申請のうえ、榎葉町子育て支援センターに電話で利用申込みを行ってください(2回目以降は直接榎葉町子育て支援センターに電話で利用申込み)。
富岡町とみたさくら保育施設 住所：郡山市富田町字若宮前32 ☎024-935-1522
- ②就学児童
初回利用の際、富岡町こおりやま児童クラブへ利用登録申請のうえ、榎葉町子育て支援センターに電話で利用申込みを行ってください(2回目以降は直接榎葉町子育て支援センターに電話で利用申込み)。
富岡町こおりやま児童クラブ 住所：郡山市南一丁目94 ☎024-946-7585

申込受付開始日：6月10日(月)

利用開始日：6月24日(月)

健康福祉課 福祉係

結婚50年・幸せ金婚夫婦表彰

福島県老人クラブ連合会では、多年にわたり社会に貢献され、今日の社会の基礎はもとより、家族の幸せを築いてこられた結婚50年を迎えるご夫婦に「幸せ金婚夫婦」として表彰状と記念品をお送りします。

75歳以上の方につきましては、申請書を6月中旬に一齐に送付いたしますので、該当される方は、届出をお願いいたします（郵送での届出も可能です）。

▼届出ができる方

① 昭和38年に結婚し、結婚後50年を迎える夫婦

② 昭和37年以前に結婚され、まだ慶祝を受けていない夫婦

▼受付期限
7月19日(金)

▼受付窓口

富岡町社会福祉協議会
富岡町富田町字若宮前32
(高齢者等サポート拠点施設内)

富岡町社会福祉協議会
☎024-935-3345
FAX024-935-3346

税務職員採用試験(高校卒業程度)のお知らせ

仙台国税局では、国の財政を支える税務職員を募集しています。

▼第一次試験日

9月8日(日)

▼受験資格

① 平成25年4月1日において、高等学校又は中等教育学校を卒業した日から起算

して3年を経過していない者及び試験年度の3月末までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者

② 人事院が①に掲げる者と同等の資格があると認める者

▼受験申込受付期間

・インターネット申込

6月24日(月)から

7月3日(水)

・郵送又は持参申込

6月24日(月)から

6月28日(金)

個人人事院東北事務局

☎022-2221-2022

仙台国税局人事第二課

☎022-2263-1111

平成25年度総合検診の実施に伴う意向調査について

今年度の町総合検診は、平成24年度同様、県内に避難されている方には町から集団検診(県内数箇所実施予定)の通知を送付します。県外に避難されている方には病院で行う検診の通知を(財)日本予防医学協会から送付します。詳細が決まりましたら、広報やホームページにも掲載予定です。

検診は秋ごろを予定しておりますが、県内に避難されている方には検診日程や会場調整のため事前に意向調査を実施し、検診を希望される方に検診の通知をお送りします。

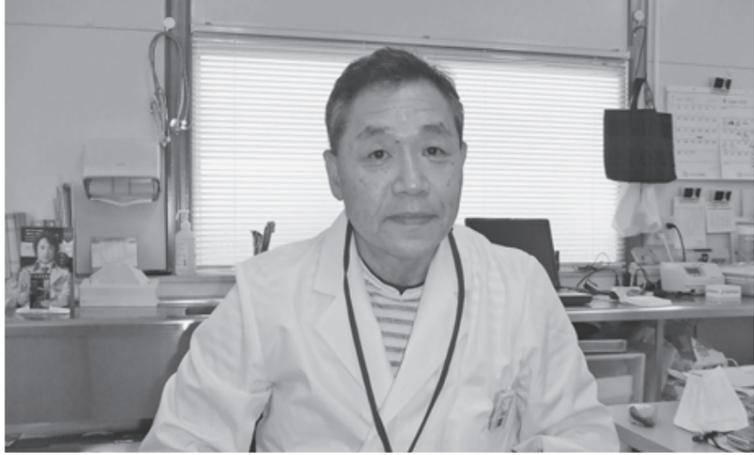
意向調査票は、町に届け出されている避難先住所を基に、県内に避難されている40歳以上の国保加入者、後期高齢者医療保険加入者及び19歳以上40歳未満の方を対象に5月末に郵送しましたので、同封のはがきでご回答ください(年齢は平成26年3月31日現在を基準にしております)。以上の条件に該当し、かつ検診を希望する方で、まだお手元に総合検診意向調査が届いていない場合は、お手数でも下記までご連絡ください。

また、現在避難先住所を福島県外に登録されている方で、福島県内の集団検診を希望する場合は、お早めに下記までご連絡ください。

☎ 国保・後期高齢の特定健診等については国保年金係がん検診・40歳未満の検診については健康づくり係

問い合わせ先

- 富岡町役場郡山事務所
○富岡町議会事務局
○富岡町教育委員会
○富岡町役場いわき出張所
○富岡町役場三春出張所
○富岡町役場大玉出張所
○財団法人富岡町体育協会
○NPO法人さくらスポーツクラブ
○富岡町社会福祉協議会
○おだがいさまセンター



私たちのお医者さん

こんにちは。大玉仮設診療所です!

第3回 「ロコモティブシンドローム」

堀川 章仁 医師(夜の森中央医院)

初 夏の陽光は新緑に映え、その輝きに満ちた光景を目にする... ロコモティブシンドローム」この単語は、5年ぐらい前から頻繁に使用されてきています。私が最初にこの単語を耳にしたのは、さくらスポーツクラブが主催した健康管理教室で、当時のクラブマネージャーの青木春弥さんの講義の時でした。

中、なんとなく意味を理解できたような感じはあります。憧れの蒸気機関車が思い浮かび、蒸気機関車から推察すると、体操をして健康を保持し、力強い動作をすることなのかな?と漠然とした捕らえ方に過ぎず、引っかけがありモヤモヤとした気分であつたことが今でも記憶に残っています。

務。「ロコモーション」という言葉は機関車を意味することは幼いころから理解していましたが、この連想は余り外れてはいませんでした。が、多少見当外れの理解で、正解ではありませんでした。コンサイス英和辞典にはlocomotive(ロコモティブ)は形容詞として「移動する」「移動力の」、名詞として「機関車」と記されています。シンドロームは医学用語ではつきりとした病名がなく、病気の症状が同じものをまとめて「症候群」と呼び「○○症候群」等の病名として付けています。5年前の理解はこれらを合わせ考えたものでした。

診療科目: 内科・外科・歯科
診療場所: 大玉仮設診療所
大玉村玉井字横堀平158-10
受付時間: 午前8時30分~11時30分
午後1時~4時

Table with 4 columns: Day, Clinic, Doctor, Remarks. Rows for Mon-Fri.

☎ 0243-48-4710

TOMIOKA 桜通信

第14号

東日本大震災と原発事故により、私たちは、ふるさとを離れ、全国に分散した避難生活を強いられています。

この「TOMIOKA (とみおか) 桜通信」では、避難生活を続ける皆さんのもとを訪ね、皆さんの声をお届けし、ふるさと「富岡」という「絆」をつないでいこうというものです。



私は震災前まで、平日は勤めに出ながら子牛の生産、稲作、畑作など農業をしていました。現在生活している場所は郡山市内とはいえ、比較的自然の多い郊外に位置しており、周辺には田畑が広がっています。このあたりでも既に田植が終わり、水田の緑が濃くなつていく様子が眼に入る度に、かつての日々を懐かしく思います。

(三春町)にスタッフとして通っています。私は土日休みですが、妻は平日休みのため、この生活が始まって以降、夫婦で休日と一緒に過ごすことは滅多にありません。

私たち夫婦は動物好きで、震災前まで、生業の牛以外にヤギ、ウサギ、ミニブタ、ハムスター、犬、猫たちに囲まれて生活していました。近所の子どもたちが遊びにきて、動物たちとふれあい、楽しむ姿がよく見られました。避難によって動物たちと離れてしまうことは大変つらいものでした。特に、妻は動物たちをとてても可愛がっていたため、避難後、動物と接することができない、あるいは残してきた動物たちがどうなっているのかという心配により、相当なストレスを感じていたようですが、動物シエルターで被災動物たちの世話をするので、そうしたストレスもだいぶ和らいでいるのではと思っています。

この場所で生活を始めてから今月でちょうど2年になりました。震災発生当時、今村病院に入院していた父は、避難開始からしばらく行方が分からず、4月に入って

ようやく再会できました。しかし避難途中で収容された郡山市内の体育館で肺炎を起こし、その後、平田市内の病院に移り治療を受けていましたが、翌月、故郷の地を踏まずして亡くなり、過日3回忌の法要を済ませました。

私は上本町の行政区長をしておりました。当行政区は48世帯。避難により全国各地に散らばってしまいました。いわき市の新舞子ハイツで開催した避難後初めての区総会には、約半数の世帯の皆さんに参加していただき、久々の再会を喜び合うとともに、近況や避難生活での悩みなどについて話を交わしました。

震災発生時、仕事のため第一原発の建屋内で作業中、立てない程の激しい揺れに襲われたが、揺れがおさまった後すぐに屋外へ脱出し帰宅した。家族は無事。翌朝、入院中の父を案じつつ、避難のため町を出た。田村市内の親類宅、同市内及び会津若松市内の避難所を経て平成24年6月から現在の借上住宅で、妻とともに生活している。

長谷川 弘さん (中央)

TOMIOKA 桜(さくら)通信



妻・洋子さんとともに

私は町内下郡山で、長男とともに自動車の修理販売会社を営んでいました。創業約30年、個人のお客様をメインにしてきました。原発事故による避難のため会社は休業。はじめの頃は会社の廃業も覚悟しました。いわき市内の同業者から居抜きではどうかという話もありましたが、条件に合うような案件ではなかったためお断りしました。避難後、時間の経過と共に、お客様や知人友人たちがいわき市に集まるようになったため、同市内に仕事と住まいを構えよ

うかと考え、避難先から通った時期もありましたが、目に適う物件に出会うことはありませんでした。現在、会社は長男が一人で、いわき市と矢吹町の同業者の工場を間借りしながら、最小限の規模で事業を再開しています。

私たち夫婦は、妻の妹一家を頼りこの地に避難してきました。幸いにも、義弟(妹の夫)の同僚のご厚意により、現在生活しているマンションを借上住宅として提供していただいております。

震災、特に原発事故では長年築いてきた商売に大きな損害を受けました。私は65歳での引退を考えていましたが被災当時は64歳。残念ながらあと1年を残して仕事を続けられなくなってしまうましたが、長男に事業を継承する機会が1年早まったと考え、自身で納得することにしました。「カネは出してもクチは出さない」と決め、会社を長男に引き渡した初めの頃は心配することもありましたが、親が思う以上に子どもは成長するものだなと感じている今日この頃です。

この地で生活を始めた当初、妹た

吉田 松恵さん (下郡山)

TOMIOKA 桜(さくら)通信



地震の被害もさることながら、私の経営する旅館(兼自宅・海遊館別館)の目の前まで津波が到達したのには驚きました。この季節、旅館の周囲には田植えが終わった水田が広がり、夏のシーズンに向けた予約の話などが始まります。震災前まではそうした日常がありました。震災発生翌朝からの避難では、自ら移動手段を持たないお客様などを旅館のマイクロバスに乗せ、家族と共に川内村を経て三春町の避難所に向かいました。4日間の滞在後、お客様たち

と別れ、埼玉県内に住む兄のもとに身を寄せたあと、現在の場所に移り家族4人で生活しています。

避難後、私たちの生活は大きく変わりました。私は事業再開の可能性を模索しながら避難先の東京といわき市を往復する生活を、また、避難開始まで私と共に旅館を切り回していた長男は、調理師の資格を活かし千葉県内の老人ホームに勤務しています。震災発生の年に大学を卒業し大学院に進む予定だった長女は、被災のため休学していましたが今年からアルバイトをしながら復学し、妻は愛犬の世話をしながらの日々です。

私は、旅館業の傍ら同業者団体「富岡地区旅館業組合」の役員をしています。同組合は大熊町以南の双葉郡内の旅館で構成されていますが、広野町内、川内村内を除いて仕事ができないう状態です。一時、先が見えない状況の中で組合解散の話もありましたが、補償・賠償に向け同業者の団結が必要になると考え、組合の存続を進めています。

その他にも、海外での臓器移植を支援する会「みきちちゃんを救う会」の代表をしています。今回の避難で

は、その活動を通して知り合った臓器移植支援団体等の皆さんが、私と家族の安否を心配してくださり、私を各種会議等に誘ってくれるなどしてくれました。

避難指示区域の見直しに伴って、旅館兼自宅に出入りできるようになりましたが、生業を再開できる状況にはありません。他の土地で事業再開といっても、施設への設備投資や長期間に渡る返済などを考えるとそう簡単にはいきません。また、原発事故によって受けた被害の補償・賠償が、「生活や商売が再建可能な」ものではありません。

自分、困難な状況が続きますが、次世代に負担を強いるようなことではなく、長期的にみても実現可能な復興の姿を目指して、様々な可能性を目指していきたいと思えます。

旅館兼自宅で被災。地震・津波の発生後、下郡山地区の高台に逃れた避難者を送迎のマイクロバスを出して避難所への移送を行った。

現在は、いわき市と避難先を一カ月にほぼ半分ずつの割合で往復している。

ち以外に知人や友人もおりませんでした。偶然、近くの商業施設で同じ双葉郡内から避難してきている知人と再会したり、栃木県内で避難生活をしている皆さんの会で同じ富岡町民に出会うなど、小山市周辺での人付き合いが生まれるようにもなりました。また、首都圏に住む高校・大学の同級生たちからも、励みや釣り、ゴルフなどへの誘いを受け参加したり、ミュージシャンをしている次男のライブの「追っかけ旅行」などをしています。妻は避難後、体調を崩し入院することもありました。が、茶道や太極拳などの教室に通ったり、市民農園を借りて、野菜を育てたりしています。

時折、自宅や会社の様子を見に町に戻ることはありますが、当面、こちらで妻と共に生活を続けるつもりです。

震災まで夫婦と長男の3人暮らし。従業員は3人で、会社の建物そのものに大きな被害は無かったが、構造上、除染が困難なことや、汚染されてしまった顧客からの預かり品(タイヤ、修理車両)等の取扱いなど今後の課題もある。

ふくしま絆カフェ富岡

TOMIOKA 桜(さくら) 通信



移転しリニューアルしたカフェ

「それじゃまた、元気でね。」という言葉を交わして、避難所となったビッグパレットふくしまをあとにする人の姿が目立つようになったのは、一昨年の今頃の時期だったかもしれません。このままでは、町を追われた上に人のつながりまでバラバラになってしまう。何とかしなければという思いで昨年2月、この「ふくしま絆カフェ富岡」を立ち上げました。この郡山市とその周辺部には、仮設住宅だけでなく借上住宅で生活する人も多く、町民の皆さんが以前

(震災前)のように顔を合わせ、言葉をお互いに交わす場所にしたと考えています。開設当初、ここを訪れ、避難以来初めて再会を果たし喜び合う方、慣れない避難先で閉じこもるように生活してきた苦しみや、仕事や子育ての不安を打ち明ける方も少なくありませんでした。悩みや問題が解消されたわけでは決して無いと思いますが、時間の経過とともにそうした話をされる方は少なくなっているような気がします。ここ最近では、1日の来場者数が10〜20人程度となっています。開設以来、試行錯誤を続けながら1年以上経過しましたが、皆さんの声を聞きながら運営を続けていきます。東京電力の賠償相談窓口、健康相談、催物や各種習い事などを毎月、日を決めて開催しています。カフェの立ち上げから約1年目の今年3月末、同じ郡山市内の東部幹線近くに移転し、2カ月が過ぎました。初めのうちは色々タバタタバタしたり、移転に伴い4月の行事は少なめになったりしていましたが、この5月からこれまでと変わらない運営に落ち着きました。以前の場所(郡

ベビー地藏作りの様子



運営スタッフの小林和枝さん

山市香久池)より場所も分かりやすく目に付きやすくなったと思います。郡山市周辺の方も、近くまでこられた方も、気軽に立ち寄って頂き、思い思いの時間を過ごされてみてはいかがでしょうか。

〒963-1883
郡山市昭和2-17-2
電話 024(953)4133
(営業時間)
午前9時30分〜午後5時30分
(定休日)
原則として毎週日曜日

幕下力士・巨東 (こと深谷宣浩さん [深谷出身])

TOMIOKA 桜(さくら) 通信



震災が発生した時、私は午前中の稽古と昼のちゃんこを終え、相撲部屋の2階で洗たくをしていました。東京でも揺れが大きく、発生直後からテレビでは各地の被害状況や大津波警報について繰り返し報道され、両親や兄にもまったく連絡が取れず、心配でなりませんでした。自分にとって原発は、身近にあるのが当たり前で安全なものという感覚だったため、その日の夕方、原発が非常事態に陥っているというニュースを見た時は、信じられない

気持ちでいっぱいでした。そして翌朝以降、避難や水素爆発など、想像をしたことすらなかったことが現実となりました。両親らと連絡が取れたのは震災発生から数日後で、家族全員の無事を知った時には本当に安心しました。私は現在、玉ノ井部屋に所属しています。親方(元大関・栃東)が福島県とゆかりがあり、相馬市内で部屋の新弟子を行っていたなどの縁から、中学校卒業後すぐに上京し、平成18年5月場所の新弟子検査を受け、相撲界の門を叩きました。相双地区の出身は私を含め5人、そのうち双葉郡出身者は世話人(双葉町出身の元十両・大日岳)を含め3人です。震災直後から部屋の皆さん全員に心配していただき、特に親方は、家族を東京に呼んではどうかと、とても気に掛けてくださいました。入門から7年、この5月場所幕下入りとなりました。これまで何度もケガを負い、3回の手術を受け、治療とリハビリに専念するために1年間休場したこともあります。今場所は幕下入り後初めての場所です。



玉ノ井親方(写真左)とともに 玉ノ井部屋正面玄関にて

た。幕下の取り組みはNHKのBS放送で中継されたため、故郷の皆さんからその様子をテレビで見たと喜びの声を頂戴しました。今場所の成績は3勝4敗。満足できる結果とはなりませんでしたが、これからも皆さんに取り組みの様子を楽しんでいただけるよう、日々、相撲道に精進を続けて行きますので、どうか皆さんもお身体を大切に、希望を捨てないで元気にお過ごしください。

生きがいを共有し絆を深める 第4回げんき富岡・震災復興祈願パークゴルフ大会



真剣に、そして楽しくプレーする参加者の皆さん

富岡町パークゴルフ協会(佐藤憲二郎会長)主催による「げんき富岡・震災復興祈願パークゴルフ大会」が4月30日、広野町ニッ沼総合公園パークゴルフ場で行われました。

同協会では、愛好者同士の絆を切らさないよう震災後も定期的に大会を開催しており、今回は県内各地から35人が参加。新緑の木立ちの中、ベストスコアを目指しプレーしていました。

大会入賞者(敬称略)

男子 1位 鹿股 洋 2位 鈴木 武利
3位 鈴木 忠三
女子 1位 田中チイ子 2位 渡辺 玲子
3位 三瓶 勝子

福島復興を願い、3町村が心をひとつに 三春 春まつり



勇壮に街を練り歩く富岡町民の皆さん

東日本大震災からの復興を願うとともに、富岡町や葛尾村から避難している町村民を励ます目的で昨年からはまった「三春 春まつり」が5月5日に行われ、三春の町で壮大な時代絵巻が繰り広げられました。

まつりは「時代行列」「合戦・演武」「郷土芸能競演会」の3部構成で行われ、祭りのハイライトである時代行列では、多くの富岡町民有志の皆さんが戦国衣装などに身を包み、歴史ある三春の街を練り歩きました。

また、郷土芸能競演会では富岡町・麓山神社の御神楽舞や葛尾村・日出神社の三匹獅子舞などが披露され、会場を訪れた多くの観衆から盛んな拍手が送られました。



藩校の剣術学生を演じた三春町の中高校生



初代三春城主・田村義顕に扮し馬に乗る田中副町長

会津の歴史と新島八重の面影に触れる旅 さくらスポーツクラブ会津若松健康ウォーキング



桜の花びらが舞う中、鶴ヶ城を散策する参加者のみなさん

NPO法人さくらスポーツクラブ主催による健康ウォーキングが4月27日、会津若松市で行われました。

今回は県内各地から町民約180人が参加しましたが、悪天候でウォーキングは中止となったため、会津武家屋敷や大河ドラマ館内、鶴ヶ城周辺などを散策。次第に雨も上がり、満開となった桜の出迎えを受けた参加者の皆さんは、「八重の桜」で話題となっている幕末の歴史に触れながら会津の春を堪能していました。

仲間と支え合い、自分の夢を叶えるために… スポーツこころのプロジェクト

スポーツこころのプロジェクトの一環で、日本のスポーツ界が一丸となり、東日本大震災で被災した子どもたちに笑顔や自信を取り戻してもらう「こころの回復」を目的とした「スポーツ笑顔の教室」が4月26日、三春町民体育館で行われました。今回は富岡第一、第二小学校三春校の5、6年生児童が参加し、日本バスケットボールリーグ・リンク栃木ブレイクスで活躍された安齋竜三さんと、元日本女子サッカーなでしこリーグ・アルビレックス新潟レディースの法師人美佳さんが「夢先生」として授業を行いました。

児童たちは、レクリエーション・ゲームを通して仲間と協力し合うことの大切さを学び、続いて行われた「対話の時間」では、安齋氏が自らの体験談をもとに、夢を持つことの素晴らしさや夢実現に向かって努力することの大切さを伝えました。児童たちは、トップアスリートとして活躍した先生方の話に聞き入り、富岡二小5年の遠藤雅也君が「1人だと何もできないけど、みんなで協力すれば何でもできることがわかりました。これからもそれを忘れず、自分の夢に向かって頑張りたいです」と笑顔で語ってくれました。



協力し合うことの大切さを学んだレクリエーション



夢を持つことの素晴らしさを児童に伝える安齋氏(左)

個展売上の一部と絵画を寄付 鉄道風景画家 松本 忠 氏

鉄道風景画家として、駅や線路など各地に残る抒情的な絵を描き続ける松本忠さんが、過日郡山市内で個展を開かれ、売り上げの一部と在りし日のJR富岡駅舎を描いた絵画を寄付されました。

埼玉県出身の松本さんは、かつて郡山市を拠点に鉄道風景画家としての活動をスタートされ、福島県を中心に全国の鉄道と沿線風景を描き各地で個展を開催。震災後は、お世話になった東北への恩返しの気持ちを込めて、被災地への寄付活動を続けられています。

なお、松本さんのホームページ「もうひとつの時刻表」では、桜の花びら舞う夜ノ森駅を描いた絵も見ることができます。



被災地への寄付を続ける松本忠さんと妻で詩人の浅田志津子さん



思い出の富岡駅



遠藤町長に義援金を手渡す
濱野健品川区長(右)

東京都品川区より義援金 震災以降9回目の善意

東京都品川区の濱野健区長が、4月26日に富岡町役場郡山事務所を訪れ、区民の皆さんなどから寄せられた浄財1,650万円を寄付しました。

富岡町と品川区は、平成17年に災害時における相互援助協定を締結。震災後は物資や義援金など長期に渡るご支援をいただいております。義援金の総額は、今回で1億1,800万円にのぼります。

濱野区長から義援金を受け取った遠藤町長は「品川区の皆さんが富岡町を忘れないでいてくれることが何より嬉しい」と語り、これまでのご支援に対し、改めて感謝の意を表しました。

義援金をいただいた企業・団体・個人名を掲載いたします (平成25年3月～4月分 順不同・敬称略)

- ・これまで寄せられた義援金 5億1,321万339円(4月末日現在)
- ・配分された額 2億3,994万円(同)

株式会社ロードアンドスカイ(東京都) 牛田松則(同) 吉田雄二(同) 木元久雄(大阪府)
NPO法人アジアありがとう支援基金理事長弓場英治(神戸市) 株式会社ビーボン(福岡県)
ヤマモトタツヤ 三嶋正之(岡山県) 株式会社ノースイ(大阪府) 井川自転車店(東京都)
富士宮市立富丘小学校PTA(静岡県) 新常磐交通株式会社(いわき市) 前田忠幸(岐阜県)
東京土建一般労働組合調布支部(東京都) スターティア株式会社(同) 森本宜久(千葉県)
タカハシジュンイチ・ケイコ サトウマサオ 伊勢国望(埼玉県) 松本 忠(同) 東京都品川区

猪狩利衛さん 永年に渡る町議会議員時代の 功績から春の叙勲・旭日双光章を受章



遠藤町長に受章の報告をされる猪狩さん

4月29日に発表された2013年春の叙勲で、元富岡町議会議員の猪狩利衛さん(下郡山)が旭日双光章を受章されました。

猪狩さんは、昭和59年に富岡町議会議員に初当選後、7期28年間(内、議長3期、県議長会長1期)に渡り地方自治の進展に寄与され、東日本大震災後は、多くの富岡町民が身を寄せたビッグパレットふくしまで、町職員とともに対応にあたられました。

猪狩さんは「今回の受章は、町民の皆様や議員時代の同志にお世話になった賜物で、過去を振り返ると感無量の思いです。これからも微力ながら、富岡町の復興のために力を尽くしていきたい」と、受章の喜びとともに今後の抱負を語られました。

富岡町スポーツ大会出場選手等激励金交付式

富岡町スポーツ大会出場選手等激励金交付式が、過日富岡町役場郡山事務所で行われ、国内外主要大会に出場する選手の皆さんに激励金が手渡されました。式では田中副町長が「皆さんの活躍を町民が見守っています。全力プレーで頑張ってください」とあいさつ。選手を代表して富岡一中バドミントン部の佐藤雄輝君が「全種目優勝を目指し頑張りたい」と抱負を述べました。

今回、あぶくま信用金庫野球部のメンバーとして佐藤潤一さんとともに東日本大会に出場する嶋原智史さんは「震災後は満足な練習ができず、実質1年間の休部明けの大会となるが、避難を続ける町民の皆さんに勇気と元気をお届けできるよう、全力プレーで試合に臨みたい」と、大会への意気込みを語られました。



激励金の交付を受けた選手並びに関係者の皆さん

激励金交付大会及び団体・個人 (敬称略)

- ◇ワリコタ スラバヤカップ 2013 (インドネシア・スラバヤ)
 - ・富岡高校バドミントン部 (18名)
 - ・富岡一中バドミントン部 (21名)

- ◇マレーシア グランプリゴールド2013年 (マレーシア・クアンタン)
 - ・富岡高校バドミントン部 大堀 彩
- ◇第35回 東日本軟式野球大会 (神奈川県海老名運動公園野球場)
 - ・あぶくま信用金庫野球部 嶋原智史、佐藤潤一

町内の放射線量

富岡町が独自に実施した町内の空間放射線量の測定結果をお知らせします(単位:マイクロシーベルト/h)

測定日:平成25年5月9日~10日(晴れ)

No.	測定場所	測定日	地上1m	地上10cm
1	下千里消防屯所	5/9	3.64	5.78
2	上千里消防屯所	5/10	2.34	2.96
3	杉内消防屯所	5/10	2.67	3.73
4	第二工業団地入口	5/10	4.73	4.72
5	高津戸集会所	5/9	6.38	9.34
6	富岡第二中学校東側	5/9	2.27	3.20
7	新夜ノ森集会所	5/9	7.75	10.40
8	夜の森公園	5/9	3.64	6.99
9	松の前待避所	5/9	10.70	12.60
10	小良ヶ浜集会所	5/9	6.64	7.62
11	町境(小良ヶ浜地区)	5/9	8.68	12.30
12	深谷消防屯所	5/9	6.98	7.61
13	富岡町営野球場	5/10	1.08	0.73
14	観陽亭前	5/10	1.42	2.86
15	富岡合同庁舎西側	5/10	3.45	3.79
16	富岡養護学校	5/10	4.34	7.85
17	老人福祉センター	5/9	8.79	20.40
18	夜ノ森駅	5/9	7.48	9.11
19	王塚集会所	5/9	6.31	8.48
20	諏訪神社前	5/9	4.01	4.70
21	上本町消防屯所	5/9	3.55	4.33
22	上本町集会所	5/9	2.93	3.78
23	リベラルヒルズ入口	5/10	3.17	5.49
24	赤木集会所	5/10	2.40	5.35
25	上郡山集会所	5/10	2.08	2.77
26	太田集会所	5/10	1.39	1.92
27	原下消防屯所	5/9	1.59	2.31
28	富岡駅	5/10	0.90	2.19
29	清水消防屯所	5/10	2.21	4.29
30	役場	5/9	2.28	2.36
31	浄化センター	5/10	1.01	1.53
32	毛萱集会場	5/10	0.56	0.52
33	富岡保育所	5/10	2.19	4.01
34	中央児童館	5/9	3.22	4.61
35	栄町駐車場	5/10	2.20	3.23
36	岩井戸消防屯所	5/10	1.97	2.61

No.	測定場所	測定日	地上1m	地上10cm
37	小浜住宅団地内公園前	5/10	4.52	6.68
38	双葉環境センター	5/10	2.70	5.04
39	NHK電波塔入口(浜街道)	5/10	4.18	6.68
40	深谷集会所	5/9	6.71	7.25
41	赤坂神社前	5/9	6.77	8.85
42	太平洋フリーディング前	5/9	13.80	23.40
43	みよし前交差点	5/9	11.40	26.60
44	富岡自動車学校前	5/9	7.81	13.60
45	リフレ富岡	5/9	4.91	5.66
46	東洋育成園前	5/10	4.97	8.15
47	富岡インター駐車場	5/10	4.79	5.96
48	上手岡児童館	5/9	3.39	4.36
49	下千里ライスセンター前	5/9	3.76	5.87
50	館山荘前	5/9	4.44	6.00
51	夜の森つつみ公園	5/9	5.68	4.65
52	総合運動場東側駐車場	5/9	5.81	8.75
53	華の樹前	5/9	7.01	8.86
54	宝泉寺前	5/9	3.96	7.87
55	国道6号第二原発入口前	5/10	1.50	2.20
56	猪狩スタンド前	5/10	1.69	2.92
57	なべや駐車場前	5/9	1.45	3.15
58	大東銀行富岡支店前	5/9	2.91	3.42
59	富岡漁港	5/10	0.65	0.74
60	サンライズイン富岡前	5/10	1.13	2.25
61	福島富岡簡易裁判所前	5/10	2.83	5.82
62	ヨークベニマル富岡店前	5/10	2.61	3.83
63	今村病院前	5/9	5.19	8.75
64	福島銀行富岡支店前	5/9	2.42	4.54
65	龍台寺前	5/10	2.79	5.05
66	清水団地前	5/10	2.81	4.17
67	猪狩電気通信工業前	5/10	2.83	4.14
68	上郡消防屯所	5/10	2.68	4.16
69	岩井戸鉱泉	5/10	1.51	2.01
70	富岡工業団地	5/10	2.03	1.92
71	成沢の滝入口	5/10	1.75	2.67
72	沼名子橋	5/9	3.27	4.88

測定器:γ線用シンチレーションサーベイメーター(日立アロカメディカル社製)

「全力つくす、君の姿に金メダル」

~富二小4年 菊地航志君、富二小6年 木下敦次君 合作スローガン~

富岡町立幼稚園・富岡第一、第二小学校 合同春季運動会



富岡町立幼稚園、富岡第一・第二小学校の合同運動会が5月18日、田村市総合体育館で行われ、会場に子どもたちの笑顔が溢れました。

開会式では、富岡一小的新井川美千枝校長が「皆さん一人ひとりの心に残り、将来につながる運動会でありますように」とあいさつ。全員で運動会の歌を斉唱したあと演技に移り、園児や児童たちがバラエティーに富んだ種目にチャレンジしました。会場に駆け付けた多くの保護者は、子どもたちの元気な姿に目を細めながら声援を送っていました。

また、学校行事や再会の集いなどの支援を続ける千葉大学の学生と職員もボランティアで参加し、子どもたちに負けないパワーで運動会を盛り上げました。





「宮古島の海と大切な家族」 撮影 林 貴代子さん(新夜ノ森)



現在、沖縄県宮古島に避難しています。写真の犬は、我が家の大切な家族、プードルの「美空」(右・5歳)とダックスフンドの「せな」(11歳)で、いつも元気に走り回っています。

宮古島はとても穏やかな所です。震災で避難するとは思っていませんでしたが、いつもタブレットで富岡のFMを聴いており、いつの日か皆さんと会える時を楽しみにしています。

「復興を祈る伝統の舞」 三春 春まつり 郷土芸能競演会にて



三春 春まつりで、三春町の長獅子、葛尾村の三匹獅子舞とともに披露された、富岡町麓山神社氏子青年会の皆さんによる御神楽舞。

いつの日かふたたび麓山神社の境内で踊れることを願う躍動感にあふれた力強い舞に、沿道を埋め尽くした観衆から大きな拍手が沸き起こりました。

「生きがいを持ち、明日に向かって」 パークゴルフが繋ぐ仲間との絆



回を追うごとに参加者が増える、げんき富岡・震災復興記念パークゴルフ大会。いわき市から駆け付けた根本照衛さんが「久しぶりに会う方も楽しい時間を過ごせました」と笑顔で語られたように、気の合った仲間と過ごす時間が明日への活力となって、元気と希望を届けてくれます。

— 今月の表紙：「富岡町消防団春季検閲」 —

各地で避難生活を送る団員が一堂に会し、3年ぶりに行われた消防団春季検閲。今なお戻ることができない古里を守るために、揺るぎない使命感で富岡町内や仮設住宅でパトロールにあたっています。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。

